

# 学校用ロスナイを知ろう!



## 1. そもそもロスナイって?

教室の天井あたりにあるコレは何??  
エアコン?



エアコン

なるほど、換気扇なんだね!  
ところで全熱交換形? 普通の換気扇と  
どう違うのかな??



ロスナイ

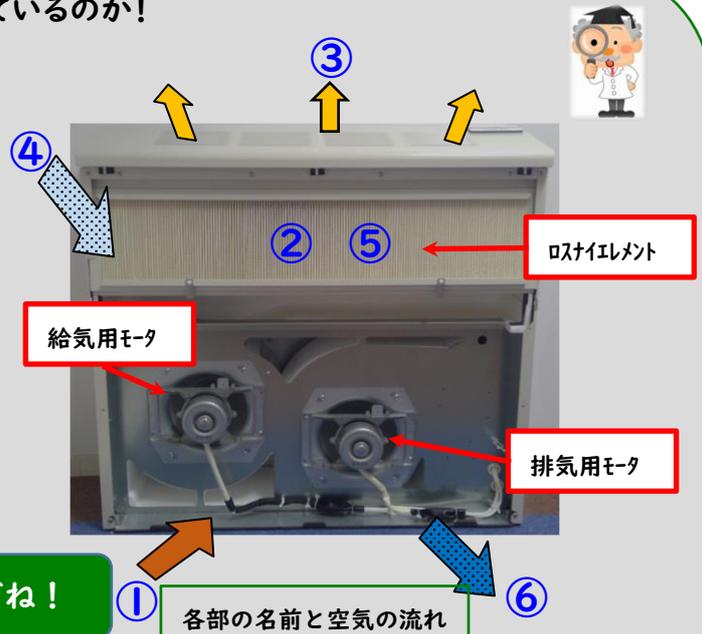
いいえ、「ロスナイ」という「全熱交換形換気扇」です。ロスナイというのは三菱電機の商品名で、ロス(ムダ)がナイ(無い)という意味です。

いい質問ですね! なぜこんな形をしていて、中で何をしているのか! ちょっと、本体の中をのぞいてみよう!

下側のパネルを開けると、中からモータとファンが2つづつ見えてきましたね。この2つのモータで、「給気」と「排気」を同時に行うことができます。さらに、風路と言われる風の通り道は、本体の中で分かれているから、排気と給気が交わることはありません。

### 空気の流れ

- ① 給気用モータの力で、外の新鮮な空気を取り込み
- ② ロスナイエレメントで、室内空気と熱交換を行い
- ③ 室内に新鮮な空気を送ります。
- ④ 排気用モータの力で、室内で汚れた空気を集めて
- ⑤ ロスナイエレメントで、外の空気と熱交換を行い
- ⑥ 外に汚れた空気を排出します。

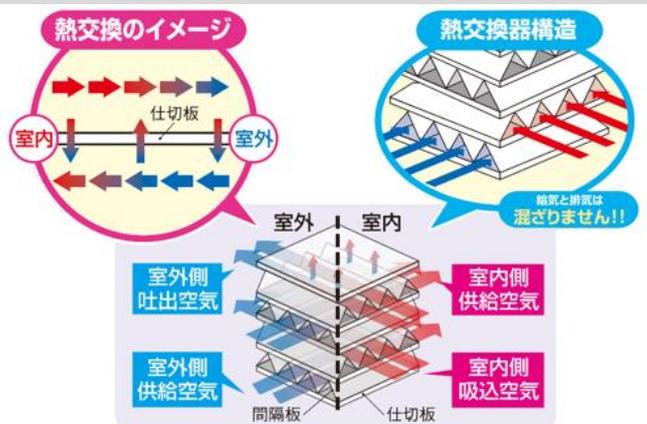


外の空気と、室内の空気が混ざることがないんだね!

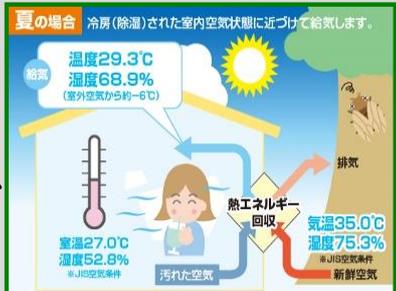
では、新鮮な外気と室内の汚れた空気を熱交換する「ロスナイエレメント」について、もう少し詳しく見てみよう!

- ロスナイエレメント(全熱交換素子)は、
- ・給気と排気の空気が混ざること防ぐ特殊加工紙でできています。
  - ・室内へ取り込む外の空気と、室外へ排気する室内の空気がエレメントの層を交互に通過し、「温度」と「湿度」を交換(熱回収)する働きをしています。

熱交換をすることで、外気を室内の温度に近づけて、供給することが可能になりました!



例えば夏の場合、一般換気扇であれば外の気温 35℃、湿度 75.3%の空気が直接室内へ入ってきますが、ロスナイであればロスナイエレメントの熱回収効果により、温度 29.3℃、湿度 68.9%の空気が室内へ入ってきます。



ロスナイで換気をすれば室内の温度と湿度の半分以上を外に捨てずに室内に戻すことができ、普通の換気扇や窓開け換気と比べてエアコンがラク! になり省エネにつながるんだね!

